道徳科学習指導案

令和3年5月20日(木) 第5学年3組(5年3組教室) 指導者 栗原 和馬

【主題】広い心で「まかせてみようよ」(内容項目B11「相互理解, 寛容」)

考察	道徳的諸価値についての理解 (学習活動)	自己の生き方についての考え (学習活動)	道徳性 (道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的实践意欲と態度) (育成を目指す資質・能力)
育成を目指す 資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見を受け入れること のよさについて理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活経験を基に, 相手の意見を受け 入れることよさについて, 友達や教師と 話し合いながら考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見や思いを受け入れながら生活 していこうとする道徳的心情を養う。
児童の 実態	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見を受け入れること が大切であることは理解して いる。 相手の意見を受け入れること で, 多様な意見を聞くことが できることは理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の児童は, 相手の意見を受け入れるこ とで, 相手の新たな面を知ったり, 交友関 係が広がったりし, 多くの相手と関わって 生活できることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と違う意見や思いを受け入れること ができず, 自分の意見や思いを押し通そ うとしてしまい, 相手の意見や思いを受 け入れながら生活していこうとする道徳 的心情が育っていない面もある。
価値	<p>・「相手の意見を受け入れること」はよいことである。なぜなら, 「相手の意見を受け入れること」で相手の背景にある思いを察して, 寛容な態度で受け入れ, 相手の新たな面を知ることができたり, 交友関係を広げたりして生活できるようになるからである。しかし, 高学年の児童は, 自分と違う意見を受け入れることができず, 自分の意見を押し通そうとしてしまい, 相手の意見を受け入れられないことがある。そこで, 児童が相手の意見を受け入れることで, 多様な意見を聞き, 視野が広がることに気づき, 相手の意見や思いを受け入れながら生活していくことができるようになる。</p> <p>・地図係の石井さんの意見を受け入れた主人公の姿から「相手の意見を受け入れること」について問題意識をもつことができる。また, 石井さんの意見を受け入れた理由を考えることで, 石井さんの意見の背景にある思いを汲んだ主人公の心情に気づき, 相手の意見を受け入れることよさを理解する。また, 事前に決まっていたルートを変えることの是非を聞くことで, 状況によっては相手の意見を受け入れることが難しかったり, 相手に共感することでも受け入れることになったりしていることに気づき, 相手の意見や思いを受け入れて生活していこうと考えられるようになる。</p>		
見方・考え方	<p>「相手の意見を受け入れること」を, 自己との関わりで多面的・多角的に捉え, これからの自己の生き方について考えること。</p>		
今後の学習	<p>5年「みんなの劇」で, 相手のことを尊重することでよりよいものが生まれることについて考える学習へと発展していく。</p>		
他の教育活動 との関連	<p>・「相手の意見を受け入れること」について 例: グループ学習で意見を一つにまとめる場面, リレーの走順決めをする場面</p>		

本時の学習（1 / 1 時間目）

ねらい 主人公が石井さんの意見を受け入れた理由を話し合うことを通して、相手の意見を受け入れることで、多様な意見を聞き、視野が広がることに気づき、相手の意見や思いを受け入れながら生活していこうとする道徳的心情を養うことができる。

評価の視点 「相手の意見を受け入れること」のよさについて、主人公の立場や生活経験から考えるなど、多面的・多角的に考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・タブレット>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
<p>1 教材を読み、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、友達の意見を受け入れられないことがあるんだよな。みんなも受け入れられないことがあるのだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・どうして主人公は、石井さんの意見を受け入れることができたのだろう。 (課題意識)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時で扱う道徳的価値への方向付けができるよう、相手の意見を受け入れた経験の有無についてのアンケート結果を提示する。 ○「相手の意見を受け入れること」についての問題意識をもてるよう、教材「まかせてみようよ」の範読後、学級の実態と主人公の行動の違いを問いかける。
<p>学習課題：どうして主人公は石井さんの意見を受け入れたのだろう</p>	
<p>2 学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公は、石井さんの意見を聞けば早くゴールできると思ったから受け入れたんだな。 ・主人公は、石井さんの意見を聞いて納得したからと書いてるな友達もいるな。理由を聞いてみたいな。 ・友達が言うように事前に調べていた石井さんの姿を認めていたからなのかな。よい意見かどうかよりも石井さんの姿を見て受け入れたのかのかもしれないな。 ・石井さんの行動から受け入れたのと、石井さんの立場を考えて受け入れたという意見があるのか。どちらも主人公がよく相手のことを考えていたのだな。 ・本当は決めたことを変えるのはよくないと思うけれど、相手の気持ちを考えると聞いてあげたいな。 <p>3 学習課題を解決し、これからしていきたいことについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・主人公は、石井さんの努力していた姿から意見を受け入れることができたのだな。 (課題を解決した意識)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習で意見がまとまらなくて困ったときがあったけれど、相手のことを考えて、もう少し相手の意見を受け入れていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する自己の考えを自覚できるよう、タブレットに学習課題に対する考えを書くよう促す。 ○学習課題に対する自己の考えが一面的であることに気付けるよう、タブレットで児童の回答を共有する。 ○学習課題に対する自他の考えを多面的・多角的にできるよう、タブレット上に挙げられている友達の考えを見たり、友達に質問をしたり、自己の考えを伝えに行ったりするよう促す。 ○受け入れた理由の違いに気付けるよう、関連がある意見に分けて板書し、相違点を問いかける。 ○状況によっては相手の意見を受け入れることが難しいことに気付けるよう、決めたことを変えることの是非について問いかける。 <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する自己の考えをより深められるよう、個別や学級全体で話し合った考えを取り入れながら、学習課題に対する自己の考えをタブレットに書くよう促す。 ○これからの生活への見通しをもてるよう、「これからしていきたいこと」の視点を提示し、タブレットに振り返りを書くよう促す。